

陸自入隊者から嬉しい報告 『前期教育総合成績3位受賞』

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 内山1等空尉）は、今春、陸上自衛隊（第34普通科連隊自衛官候補生前期課程教育隊・板妻駐屯地）に入隊した田中 真自衛官候補生より嬉しい連絡があった。

田中自候生より『お疲れ様です！もうすぐ前期教育が終わりです。任地は板妻普通科です。成績は新教隊で3位でした！』（原文ママ）と喜び溢れる報告を受けた。担当であった広報官の江澤 雅宏^{えざわ まさひろ}2等陸曹は、田中自候生と入隊後も連絡を取り合っており、報告を受けてすぐ祝福の言葉を送った。

田中自候生は、4年制大学新卒時に一般曹候補生と自衛官候補生の両試験を受験、見事両方の試験に合格。だが、体育教師になる夢を諦めきれず、教員試験に挑戦するも当時合格に至らなかった。そのような時期に江澤広報官が「横浜市の教員選考試験では、特別選考②の社会人経験者として、自衛官としての勤務経験が活かせる制度があるのを知っている？就職浪人するより社会人経験を積んで、試験科目が少ない選考を受けたらどうか」と情報を提供した。この制度は、各地の教員試験でも多く採用されている選考方法であり、教員免許取得は前提だが、社会人経験通算3年以上が考慮され一般選考より試験項目が少なく、『指導案』という科目のみで選考試験に挑めること、働きながらも試験対策をしやすいくこと等のメリットがあった。

この情報提供を受けて田中自候生は、教員になる夢を目指しながら自衛官候補生として社会人の一歩を踏み出す決心をした。祝福の返答を受取った田中自候生からは「就活中の時、江澤さんからの情報を聞いていなかったら就職浪人をしていたかもしれない。教育期間中、とても充実した毎日を送れたので、今後の進路については、もう少し考えてみたい」と返事があり、卒業式で旗手を務めた凛々しい姿の写真が添付されていた。

市ヶ尾募集案内所は「広報官との出会いにより、入隊者が自衛官として成長していく姿は大変誇らしい。これからも一期一会を大切に、対象者に寄り添った募集広報活動を進めていく」としている。



卒業式で旗手を務める田中自候生

母校を訪れて

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 田中3陸佐）は6月24日（金）、高等工科学校へ入校した梅津生徒の母校である横浜市立錦台中学校への母校訪問に同行した。

梅津生徒は今年度で3年生となり、高等工科学校生徒としては最後の母校訪問となった。訪れた中学校では、在校時所属していた柔道部でお世話になった顧問教諭に挨拶をした後、部に顔を覗かせ後輩部員たちと共に練習に参加した。柔道部先輩として後輩部員に指導をするとともに、練習の合間には高等工科学校生徒として自衛隊についての質問に丁寧に答えた。一緒に練習をした後輩部員達からは「自衛隊・高等工科学校に興味を湧いた」等感想があった。

横浜出張所は、「今後も積極的に隊員の母校訪問に協力し、自衛隊に対する理解を深めていきたい」としている。



柔道部員に対し激励をする梅津生徒（中央青い道着）



後輩指導について話す梅津生徒（右側）と顧問教諭（中央）